

令和2年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- 工業用水供給量は、実使用水量が増加したものの、基本使用水量は減少し、**料金収入は、前年度比6.1%減の7億4千6百万円余**となった。
- **経常収益**は、料金収入が減となったことにより**前年度比9.0%減の7億9千1百万円余**となり、**経常費用**は、修繕費の減等により**前年度比8.0%減の7億4千万円余**となった。
- この結果、**経常利益**は、**前年度比21.5%減の5千万円余**となり、**純利益**は、特別利益の増により**前年度比7.1%減の5千9百万円余**となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		791,018	869,626	△78,608	△9.0%
経常費用		740,392	805,141	△64,749	△8.0%
経常利益		50,626	64,485	△13,859	△21.5%
特別利益		※ 9,309	0	9,309	皆増
特別損失		0	0	0	—
純利益		59,935	64,485	△4,550	△7.1%

※ 令和2年度は、退職給付引当金残高を取崩したことに伴い、特別利益(退職給付引当金戻入)を計上

1 工業用水の供給状況

実使用水量は増となったが、ユーザー企業の使用廃止等に伴い基本使用水量は減となった。

(単位：千m³/年)

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
基本使用水量		12,230	13,244	△1,014	△7.7%	ユーザー企業の使用廃止等に伴う基本使用水量の減
実使用水量		7,316	7,293	23	0.3%	使用実績による実使用水量の増
うち 超過水量		55	43	12	27.9%	

※ 供給先：北上工業団地、岩手中部工業団地に立地している19事業所

※ 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による計算値とは必ずしも一致しない。

<1m³当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

税抜

料金種別	工業用水料金の額	超過料金の額※
基本使用水量(基本料金)	42円	35円
使用水量(使用料金)	3円	3円
超過水量(超過料金)	90円	—

※超過水使用の場合は、工業用水料金に加算

2 経常収益の状況

基本使用水量の減により料金収入が減(△48,498千円)となったことなどにより、前年度比78,608千円(9.0%)減の791,018千円となった。

3 経常費用の状況

修繕費や人件費の減等により、前年度比64,749千円(8.0%)減の740,392千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比13,859千円(21.5%)減の50,626千円となり、純利益は、前年度比4,550千円(7.1%)減の59,935千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	4,000	50,626	46,626	料金収入の減により経常利益は減となったが、修繕費や人件費等が減となり、経常収支比率の目標を達成。
経常収支比率	100.3%	106.9%	6.6ポイント	